

北村山高校そばガールズが 手作りの裁縫針刺しを寄贈

北村山高校家庭クラブ活動の「そばガールズ」の菅野凜さん、菅野律さん、加藤奏絵さんの3人が2月21日(火)に南小と役場を訪れ、手作りの針刺しを寄贈しました。そばガールズでは、小学5年生から家庭科で裁縫授業が始まることから、4年生児童全員に手作りの針刺しをプレゼントしています。針刺しは、SDGsを意識して裁縫で使用した布の端切れやペットボトルのキャップなどを活用して作られたものです。布の絵柄やリボンの色味をバランス良く上げるため、メンバーで意見を出し合って作られました。



針刺しの寄贈は教室で行われ、3人は「使ってくれれば嬉しいです」と児童に手作りの針刺しを手渡しました。

針刺しを受け取った高橋蓮さんは「とっても嬉しいです。自分だけの、世界で一つの人形を作ってみたいです」と話していました。



大 中 で 立 志 式 2 年 生 が 将 来 の 夢 語 る

数 元年で15歳を祝う元服にちなんだ立志式が、2月22日(水)大石田中体育館で行われ、2年生45人が参加しました。同校では、生徒の自立心を育むため毎年立志式を開催しています。立志式は2部構成で行われ、最初に、生徒による決意表明が行われました。金村裕之校長が「人生は挑戦の連続です。これまでの皆さんの人生経験をフルに使って、新しい一歩を踏み出す決意を見せてください」とあいさつすると、2年生45人がそれぞれ「甲子園野球に出場したい」や「切磋琢磨して学業やスポーツをがんばりたい」など、今後の生き方や将来の夢を発表しました。

第2部では、ソチオリンピック日本代表選手のウイリアムソン師円さんを招いた講話が行われました。師円さんは昨年一線を退き、タカミヤホテルで働きながら、母校の山形中央高校スケート部の指導に携わり、選手の育成に力を入れています。講話は「目標達成に向けて」というテーマで行われ、師円さんが自身の挫折や成功体験などの経験を通して気付いたことが語られました。

参加した早坂勇介さんは「これからの人生で壁に当たった時は、師円さんの講話を思い出してがんばりたいです」と話していました。



食生活改善推進員連絡協議会が 町に食育関連の本26冊を寄贈

食生活改善推進員連絡協議会(長沢依子会長)が、2月27日(月)に役場を訪れ、食育関連の本26冊を寄贈しました。同会では「子どもたちの食育に役立ててもらいたい」との思いから、令和元年以降、毎年町に食育関連の本を寄贈しており、今年で4回目になります。

寄贈にあたり、長沢会長は「特に子育て中のお母さんに読んでほしいです。若い人に興味を持ってもらい食改に入ってくれる人がいると嬉しいです」と話していました。

寄贈いただいた本は、町立図書館で読むことができるほか、貸出も行っています。

大変ありがとうございました。



交通安全のお約束忘れないでね かもしかクラブ修了式を開催

かもしかクラブ修了式が、町内3つの保育園で行われました。今年度は、横断歩道を安全に渡るためのストップのお約束や、ダミー人形を使ったダンプとの衝突実験、職員による交通安全の寸劇など、園児は様々なことを学びました。

今後も交通安全のお約束をしっかり守って、交通事故にあわないように気を付けましょう。

ご家族の皆さんもご協力をお願いします。



3 年 ぶ り の 開 催 みんなでモッシュェコンサート

みんなでモッシュェおーいしだ盛り上げコンサート2023が、2月19日(日)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。モッシュェコンサートは、平成29年度に虹のプラザオープン記念イベントとして町が(一社)モッシュェやまがた(若草恵代表)に委託し、開催したのが始まりです。感染症が拡大するまでは、毎年開催されており、町内外から毎回多くの観客が訪れています。

当日は335人の観客が訪れ、会場がほぼ満席となり、久しぶりの賑わいを見せました。ゲストアーティストのほか、大中吹奏楽部の演奏や南小5年生児童の大黒舞の披露が行われ、会場は大いに盛り上がっていました。



子どもの成長みんなで祝う にじっこひな祭りを開催

にじっこひな祭りが、2月28日(火)ににじっこひろばで行われ、親子12組が参加し、子どもたちの成長を祝いました。

この日は、子どもの顔写真を使ってお内裏様とお雛様を手作りする「おひなさま工作」のほか、職員によるアニメ主題歌の生演奏やクイズ大会など様々な企画が催されました。

にじっこひろばでは、お子さんの一時預かりのほかにも、絵本の読み聞かせや工作などを行う毎週水曜日のクラブ活動や年中行事イベント等楽しいイベントを開催しています。

ぜひ遊びに来てください。



▲にじっこひろばへのアクセスはこちら